

平成26年2月12日

関係機関の長 殿

国立大学法人長崎大学大学院
水産・環境科学総合研究科長
早瀬 隆 司 (公印省略)

教員(准教授)の公募について(依頼)

このたび本研究科では、下記要領により教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関の関係各位にご周知いただきたく、よろしくお取り計らい願います。

記

本公募は、長崎大学が平成26年度から導入する「長崎大学女性枠設定による教員採用・養成システム」による人事です。長崎大学では「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に関わる措置に関する特例)の規定により、女性教員の割合が少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を行っており、今回、水産・環境科学総合研究科水産科学領域海洋生物機能分野での女性教員を公募します。採用された女性教員につきましては、全学的な支援システムによるサポートを進めることとしています。

本公募では、水産・環境科学総合研究科における第1次審査の後、学長も審査委員となる全学審査委員会における第2次審査を経て、全学で文系・芸術系の教員2名程度、理系の教員6名程度の採用候補者を最終決定します。

1. 所 属 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
水産科学領域海洋生物機能分野,
水産学部海洋生物機能科学講座
2. 職名・人員 准教授(女性に限定して募集)・1名
3. 採用予定年月日
平成26年10月1日から平成27年3月31日までのできるだけ早い時期
4. 応募要件
(1) 博士の学位を有する女性の方。

ただし、外国人にあつては、日本語の読み書きに支障がないこと。

- (2) 専門分野に関する優れた業績または相当の職務経験を有し、学際的・国際的な広い視野に立った教育研究活動を通して社会に貢献できる方。

5. 主な職務内容

(1) 担当予定講義科目

水産・環境科学総合研究科（博士前期・後期課程）並びに水産学部での海洋生物機能学及び水圏生化学に関する講義，実験，実習，演習等を担当していただく予定です。

また、水産学部及び他学部向けの教養教育科目も担当していただきます。

(2) 専門分野

水産学分野において、生化学・分子生物学的なアプローチで、海洋動植物を対象に、その生物機能について先進的な教育・研究を推進できる方。

また、水産科学の教育・研究者として、附属練習船の活用を含め、近年の環境変動に対応した水産食料資源の品質管理，有効利用，安定供給を包括した学際的な分野で、意欲的な活動ができる方

6. 待遇

国立大学法人長崎大学の規程による

7. 選考方法

第1次審査 書類審査及び面接審査（平成26年4月頃）

第2次審査 全学審査委員会による書類審査及び面接審査（平成26年7月頃）

* 面接の際の交通費等は応募者の負担とします。

8. 提出書類

- | | |
|--------------------------------|-------|
| (1) 履歴書(最近6ヶ月以内の写真貼付)【様式1】 | 1通 |
| (2) 業績目録【様式2-1, 様式2-2】 | 1通 |
| 学術論文については、審査付論文には数字に○印を付けて下さい。 | |
| (3) 主な学術論文の別刷りまたはそのコピー | 10編以内 |
| (4) 外部資金の獲得実績【様式3】 | 1通 |
| (5) 教育に関する抱負【様式4】 | 1通 |
| (6) 研究に関する抱負【様式5】 | 1通 |
| (7) その他 | |

所定の様式の1ページで収まらない場合は、適宜ページを追加して下さい。

様式等は下記の長崎大学水産学部のホームページからダウンロードが可能です。

(<http://www.fish.nagasaki-u.ac.jp/recruitment/index.html>)

9. 公募書類の提出締切日

平成26年4月4日（金）必着

10. 応募書類提出先

長崎大学水産学部支援課総務係

〒852-8521 長崎市文教町1-14

※ 封筒に「教員（海洋生物機能分野准教授）応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付すること。

なお、提出された書類の情報は、本選考以外に使用しません。また、選考後、当該書類は返却致しません。

11. 本公募による支援制度

- (1) 初年度スタートアップ研究費 150万円（理系）
- (2) 2年目, 3年目の研究費 100万円
- (3) テクニカルスタッフ（研究支援者）の措置（出産・育児期（子が小学校6年生に達するまで）の者について、採用後3年まで措置する。）

12. 本件に関する問い合わせ先

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 教授 石橋 郁人

TEL : 095-819-2833

FAX : 095-819-2799

E-mail : fumito@nagasaki-u.ac.jp

13. その他

- (1) 第1次審査にあたって水産・環境科学総合研究科において面接などをお願いすることもあります。その際の旅費は自己負担とします。
- (2) 第2次審査では、全学審査委員会による面接等を踏まえたヒアリングを実施しますが、その際の旅費は自己負担とします。
- (3) 水産学部海洋生物機能科学講座（大講座）の構成員と専門分野は次のとおりです。

教授 原 研治（水産生物化学）

教授 北村 等（生物環境学・化学生態学）

教授 萩原 篤志（水産増殖学）

教授 小田 達也（生化学・細胞生化学）

教授 金井 欣也（魚病学）

教授 長富 潔（分子生物学・生物化学）

教授 石橋 郁人（天然物化学）

准教授 桑野 和可（藻類学）

准教授 山口 健一 (生物化学・タンパク質化学)

准教授 Satuito, Cyril Glenn (生物環境学・化学生態学)

准教授 菅 向志郎 (魚病学・分子生物学)

准教授 本公募による

助 教 吉田 朝美 (生物化学・分子生物学)

(4) 水産・環境科学総合研究科ホームページ <http://www.fe.nagasaki-u.ac.jp/>

水産学部ホームページ <http://www.fish.nagasaki-u.ac.jp/index-j.htm>

本学の男女共同参画推進及び女性研究者支援に関する取組については、下記ウェブサイト等でご確認願います。

男女共同参画推進センター <http://www.cge.nagasaki-u.ac.jp/>